予備自に関する最新情報や予備自衛官の活躍及び自衛官募集種目の最新情報などを宮城地方協力本部ＨＰにてご覧いただけます。

宮城地方協力本部

予備自通信

令和６年１０月１日〈秋号〉
●発 行：
自衛隊宮城地方協力本部予備自衛官課
●住 所：仙台市宮城野区五輪１－３－１５
仙台第３合同庁舎内
●電 話：０２２－２９５－２６１３
●ホームページ：
http://www.mod.go.jp/pco/miyagi/

平素から自分の仕事を持ち、大変な仕事をしながら招集訓練に応じてくれていること、予備自衛官をしてくれていることに「心から感謝と敬意を表します。」（陸上幕僚長）

予備自衛官制度創設70周年事業

（令和６年度 予備自衛官中央訓練）

５月23日から27日の間、市ヶ谷駐屯地、朝霞駐屯地及び東富士演習場において予備自衛官制度創設70周年事業が実施され、宮城地方協力本部所属の髙橋文章予備１等陸尉及び 末永百合子 予備３等陸曹が参加しました。

本事業は、陸上自衛隊として、70周年を祝賀し予備自衛官等の士気高揚を図るとともに、制度広報等を行い、国防に対する国民の理解促進を図ることを目的としており、全国から選抜された成績優秀な予備自衛官に対し、陸上幕僚長訓示、富士総合火力演習研修、災害派遣を想定した総合訓練などが行われました。

参加予備自衛官の感想

予備３等陸曹　末永百合子

令和６年５月22日から27日までの間、朝霞駐屯地、市ヶ谷駐屯地、東富士演習場において中央訓練に参加しました。私は予備自衛官に任官なので、この70周年の節目に選抜され参加することになるとは全く考えていませんでした。

22日に着隊をして前泊。少しだけ心に余裕が生まれ同室の仲間と話をしてすごした。翌日からの５日間に備える事が出来ました。

一日目、すでに被服交付は終えていたので健康診断。年齢的に血圧が引っ掛かりそうでしたが、クリア。着隊申告で迷彩服に約半年ぶりに袖を通し、これから始まる日々に期待と不安でドキドキでした。

二日目、市ヶ谷駐屯地(防衛省)において、初めて着る制服に身を包み記念館を研修、陸上幕僚長からの訓示をいただき、能登半島地震での災害派遣招集で活躍した方々の経験談を聴講いたしました。お笑い芸人のちっぴいちゃんズこと上岡即応予備２曹の経験談を聴いていて、言葉につまる彼女を見て、思わず涙が溢れました。自衛隊が、そして自衛官が出来る事とは何か、その線引きの難しさを考えさせられました。

三日目、今回の訓練の一つ目の山場である総合訓練を行いました。総合訓練前の機能別訓練では、無線機の使い方、担架、チェーンソー、ラムジャッキなどを実際に手に取り扱い方を学び、実働訓練では私が属する第３小隊は倒壊家屋の捜査救助にあたりました。要救助者への声かけや報告の要領はとても着眼点が多く、事に臨んではしっかり活かせるようにしようと思いました。

四日目、バスで東富士演習場へ移動し総合火力演習の研修に。私はよく駐屯地の一般開放や記念行事に行って訓練展示を見るのが好きなので「実弾演習が見れるとは！」と各砲からの射撃の衝撃波に、これが自衛隊の防衛力のほんの一部なんだと感激しました。夜は明治記念館での予備自衛官制度70周年記念祝賀会で木原防衛大臣とお会いしてこれからも頑張るようにと激励を受けました。

五日目、被服返納、離隊式。一緒に過ごした仲間との別れ。また10年後に会いましょう！と名残惜しく連絡先を交換しつつ各自電車に乗り込みました。

中央訓練に参加し、ここに書ききれない５日間の訓練の日々は私のこれからの予備自衛官としての使命や責任をより強く感じ、毎年の招集訓練でも活かせていければと思いました。

最後に、私の訓練を数年間見守りこの中央訓練に行くように推してくださった地本の担当官、そして受け入れ部隊の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました！

同室の仲間と（筆者右上）

予備自衛官を目指しスタート

令和６年度　予備自衛官補辞令書交付式等を実施

７月７日、仙台第３合同庁舎において、令和６年度予備自衛官補辞令書交付式を実施しました。

７月１日付採用となった18名のうち、予備自補（一般）11名、予備自補（技能）５名が辞令書交付式に臨みました。

板倉予備自補（技能）の号令で本部長への敬礼に続き、技能及び一般の一人ひとりの名前が読み上げられ、技能と一般を代表して板倉予備自補と鈴木予備自補（一般）に本部長から辞令書が手渡された後、板倉予備自補の宣誓に合わせて全員で力強く宣誓が実施されました。

本部長からの「予備自衛官制度またその教育訓練を、いかに活用するかは皆さん次第であり、予備自衛官となり、仕事をしながらいざというときは現職自衛官の支援を行うもよし、教育訓練を通じて得た経験を活かし現職自衛官を目指すもよし、いずれにしても皆さんの今後の人生にとって貴重な経験となることは間違いないと思います。」との訓示の後には、今年度の中央訓練にも参加した末永予備３曹から公募予備自衛官としての体験談をお話しいただき、初回出頭に対する不安感の軽減と訓練参加意欲の向上を図りました。

参加した予備自補からは「大学卒業後は幹部候補生を考えており、予備自補は良い経験になると思った。」「自分の技能を自衛隊で生かしてみたい。」等の声が聞かれました。

宮城地本は、まずは初回訓練への参加をしっかりサポートして、継続的な訓練参加につなげていきます。

令和６年度　任期制退職予定隊員等に対する即応予備自衛官雇用企業研修

就職と即自の両立に向けて

９月４日任期制の退職予定隊員等による即応予備自衛官雇用企業研修を実施し、来年３月に任期満了を迎え就職を予定している研修者４名、先任上級曹長等の同行者４名、計８名が参加しました。

本研修の目的は、２年以内に退職予定の任期制隊員等に対し、即自雇用企業を研修させ、企業就職と即応予備自衛官との両立への不安感を排除し、志願促進を図るものです。

研修では、宮城県合同企業説明会で面談希望の多かった業種の雇用企業３社の協力を得て、企業の業務内容、訓練招集への対応、即自等に対する処遇等について、丁寧にご説明頂くとともに、各企業で勤務している即自隊員との懇談の場を提供して頂く等、非常に貴重なものとなりました。

参加した隊員は、企業担当者から説明を受けるとともに、ディスカッション形式での懇談等で「訓練参加は会社や同僚の方の迷惑になっていませんか。」や「訓練出頭の勤務の扱いはどうなっていますか。」など、熱心に質問を行い、就職と即自の両立について理解を深めていました。

今後も、即自雇用企業と連携を図り、即自制度に対する更なるご理解を頂くとともに、即自志願意識の高揚、訓練出頭環境の維持等に努めていきます。

【東洋ワークセキュリティ㈱】

【日建工業㈱】

【㈱アート引越センター】

令和六年度前期表彰

●永年勤続

【二十年陸幕長表彰】
予備２等陸曹　加藤　昭夫

【十年方面総監表彰】
予備１等陸尉　澤田　裕輔
予備３等陸曹　安藤　芳則
予備３等陸曹　石川　瞬
予備３等陸曹　村田　富士子

【五年地本長表彰】
予備１等陸尉　櫻庭　一臣
予備３等陸尉　山川　孝夫
予備３等陸尉　相澤　広朗
予備准陸尉　佐久間　章文
予備陸曹長　長谷川　一二
予備陸曹長　今野　一男
予備陸士長　大宮　光祐

●顕彰状

予備１等陸佐　岡田　圭治
予備２等陸佐　檜野　謙二
予備２等陸佐　阿部　弘之
予備３等陸佐　髙杉　敏秀
予備３等陸佐　髙橋　英樹
予備１等陸尉　伊藤　勇次郎
予備２等陸尉　横澤　春彦
予備２等陸尉　横山　誠
予備３等陸尉　阿部　勇
予備３等陸尉　氏家　健
予備３等陸尉　伊藤　徳枝
予備准陸尉　檜山　忠夫
予備准陸尉　上澤　澄
予備１等陸曹　針生　直人
予備１等陸曹　治部　勇